

施策の評価

施策の柱	柱①	学校・学級改革 ~児童生徒の基礎学力の定着と学力の向上~
------	----	------------------------------

1. 施策の主要目標の達成度

施策の主要目標	目標達成度	判断理由																				
<p>① 学習習慣を確立させ、学習内容の確実な定着を図る。</p> <p>目標達成のための主な手段 事業 1, 2, 3, 4, 5, 6</p>	B	<p>平成 19 年度、本県中学生の授業以外に「全く勉強しない」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を大きく上回っており、家庭学習習慣の確立について深刻な課題があった。高知市への補助事業「学習習慣確立のための緊急支援事業」の取組やその成果の普及を通して、年々本県中学生の家庭学習の状況は改善してきている。</p> <p>【中学生（3年生）の家庭学習の状況】 授業以外に「全く勉強しない」と回答した児童生徒の割合 全国学力・学習状況調査（%）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高知市</td> <td>17.8</td> <td>15.8</td> <td>9.5</td> <td>9.4</td> </tr> <tr> <td>高知県</td> <td>11.5</td> <td>10.6</td> <td>7.8</td> <td>7.1</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>8.4</td> <td>7.7</td> <td>7.7</td> <td>7.1</td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	H22	高知市	17.8	15.8	9.5	9.4	高知県	11.5	10.6	7.8	7.1	全国	8.4	7.7	7.7	7.1
	H19	H20	H21	H22																		
高知市	17.8	15.8	9.5	9.4																		
高知県	11.5	10.6	7.8	7.1																		
全国	8.4	7.7	7.7	7.1																		
<p>② 学力向上に向けて、学校が組織的に取り組むための PDCA サイクルを確立させる。</p> <p>目標達成のための主な手段 事業 2</p>	C	<p>学力向上対策に意欲的に取り組む中学校を重点支援校（平成 22 年度は 50 校）として指定し、各校の学力向上対策の成果が上がるように、学校訪問（年間のべ 511 回）を通じて指導を行ってきた。</p> <p>具体的な数値目標や検証方法を学校改善プランに盛り込んでいる学校が増えていることや、学校改善プラン検証シートにおける C 評価の割合も減少してきていることから、学力向上の PDCA サイクルは確立されつつあるが、まだ、取組の弱い学校もある。</p> <p>【学校改善プラン検証シートにおける C 評価の割合】（%）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>15</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>18</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>		H21	H22	小学校	15	11	中学校	18	13											
	H21	H22																				
小学校	15	11																				
中学校	18	13																				
<p>③ 指定校、推進地域における取組を広く普及する。</p> <p>目標達成のための主な手段 事業 7, 8</p>	B	<p>県内の各地域に、新学習指導要領に基づく実践研究を組織的に行う教育課程の拠点校や、自校の課題解決のために特色ある取組を行う学校が形成された。</p> <p>「新教育課程拠点校指定事業」→中学校 4 校、小学校 10 校 「目指せ！教育先進校応援事業」→小学校 7 校、中学校 7 校</p> <p>各指定校においては、授業力総合診断シートなどを活用し、自らの授業力を検証しながら指導力改善に努めている。指導主事も指定校に定期的・重点的に関わり、取組の進捗管理と指導を行っている。</p> <p>また、各指定校は公開授業や研究発表会を開催し、取組成果を他校へ普及している。</p>																				

2. 施策を構成する個別事業・取組の評価結果

個別事業・取組	目標達成度	検討項目	総合評価
1 国語学力定着事業	—		ほとんどの学校で国語学習シートを活用しており、子どもたちの学習意欲の向上、教員の授業改善への具体的な取組につながっている。
2 学校改善プラン実践支援事業	C	ウ、エ	具体的な数値目標や検証方法を設定した学校改善プランにより、学力向上の PDCA サイクルを確立している学校が増えてきたが、まだ、取組の弱い学校もある。
3 算数・数学学力定着事業	A		単元テストの実施率は 100%であり、児童生徒のつまづきを把握することができ、その結果から授業改善が図られている。また、平成 22 年度全国学力・学習状況調査の結果において、特に A 問題の正答率が向上していることから、基礎的な学力がしっかり身に付いてきている。
4 学習習慣確立のための緊急支援事業	B		授業以外に「全く勉強しない」と答えた生徒の割合が全学年において減少し、高知市の中学生に家庭学習習慣が身に付いてきている。
5 中学校学力向上対策非常勤講師配置事業	—	イ	本事業は、校内の組織的な学力向上の取組を進め、学力の定着状況を全国水準まで向上させていくためにも有効であり、各校で効果的な活用がなされた。
6 教科指導エキスパート派遣事業	B		指導を受けた教員の授業改善や学力向上の面で成果があった。また、授業改善の意識を高め、支援を受ける教員が教材研究や授業実践を行ううえでも効果があった。
7 新教育課程拠点校指定事業	B		組織的な学校運営を確立して取組む拠点校づくりは、教員の授業力を向上させるとともに、近隣のモデル校をつくるうえで有効に機能した。
8 目指せ！教育先進校応援事業	B		自校の課題解決に主体的に取り組む学校を支援する指定校の研究とその普及啓発によって、市町村や各管内の学校における意識の高まりが見られ、先導的な役割を果たした。

3. 施策の総合評価と今後の方向

総合評価	目標達成度	内容
	B	各学校において、具体的な数値目標や検証方法を盛り込んだ「学校改善プラン」に基づく取組が実施され、組織的に学力向上の PDCA サイクルの確立に取り組むことが根付いてきている。その取組の数値的成果が上がっている学校が増えている。
今後の方向		<ul style="list-style-type: none"> ◆児童生徒の基礎学力の定着や学習習慣の確立を図るために「算数・数学学習シート」や「算数・数学単元テスト」、「国語学習シート」、「英語ライティングシート」、「理科思考力問題集」の活用を促すための教員研修や事例集の作成を行い、活用を徹底していく。 ◆学校改善プランに基づく取組を継続し、その取組の質的な向上を図るために、学校支援訪問を重点支援校（36 校）には年間 8 回、その他の中学校には年 2 回実施する。 ◆学校支援訪問を通して各指定校の取組の進捗管理と指導を定期的実施し、教員研修の拠点校づくりを継続していくとともに研究発表会や授業公開を促し、その取り組みを県内の他の学校に普及する。